

令和2年度 特例の教育課程の実施状況などについて

名護市立 久志小学校

1. 学校・市町村概要

・教育目標: やさしく たくましく 英知を磨く 緑風の子
9年間の義務教育における系統的・継続的な学びを通して、豊かな感性と知性を育み、自らの将来に夢や憧れを抱きながら、志をもってたくましく生き抜く児童生徒を育成する。

・所在地 沖縄県名護市汀間122番地
名護市立小中一貫教育校 緑風学園（久志小学校・久志中学校）

・児童数（令和3年3月1日時点）

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	17	24	19	17	24	11	11	123	23	21	14	16	74	197
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9	1	1	1	6	9	18

○名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

小中一貫教育校の特色を生かし、9年間の系統的・継続的な英語教育を推進する。小学校第1学年から英語に慣れ親しませ、中学校への滑らかな継続を図る。言語や文化に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力や英語を活用する力を育てる。

取組内容

●小学校第1学年34時間、小学校第2学年35時間の「英語活動」の授業を実施する。

●全児童生徒によるEnglish day（毎週木曜日）を実施する。
例：挨拶・授業の号令・給食時の校内放送などを英語で行う

●毎週木曜日の朝活動に、English Time（15分）を位置づけ、実施する。
例：1,2年生 Story time 3,4年生 Chants 5,6年生 Song 7,8,9年生 英検対策



English Time
3, 5年生の合同で、一緒に歌ったり、自己紹介をしたりした。



English day
職員室に入る時、ヒント表を見ながら英語でのやりとりに挑戦している。



1,2学年の外国語活動
担任による授業を行っている。新しい語彙を身体全体を使って表現し、慣れ親しんだ。



ハロウィンパーティ
1～4年合同で学習した表現を使ってハロウィンパーティを行った。



5,8年合同授業
重なりのある単元を小中の教師で教材研究し、合同授業を行った。

3. これまでの成果と課題、今後の取り組み

○全校体制で英語の学習環境をつくることで、児童生徒の外国語や外国の文化に対する興味関心を高めることができた。

○英語検定では合格者が増えており、小学部からの英語教育の成果が出ている。標準学力調査において、全国、市町村の平均を5年生で約5でポイント、6年生で約10ポイント上回ることができた。1年生から丁寧に音声に親しませてきたことで、外国語活動、外国語の学習の際、話す・聞く・読む・書くの4技能の習得にスムーズにつながっている。

○異学年交流を通して、先輩の英語を話す姿が憧れとなり、児童の学習意欲の向上につながった。

▲異学年交流では、交流学年に偏りがあった。

バランスよく異学年交流が実施できるよう、単元の関連を見通した年間計画を作成した。次年度は計画をもとに小中一貫校の特色を生かして実践していきたい。